

10年の歩み

2011	
3月	東北地方太平洋沖地震発生 福島第一原子力発電所事故発生 福島蚕糸跡地に仮設住宅建設開始
4月	仮設住宅入居開始
6月	園庭・校庭の表土除去作業開始
9月	積算線量計(ガラスパッジ)配布
12月	果樹除染、食品放射能測定開始
2012	
2月	復興こおり創造プラン策定
3月	内部被ばく検査開始
7月	町内除染作業開始
9月	米の放射性物質全量検査開始
2013	
7月	天皇后両陛下下行幸啓(町内通過)
2014	
2月	映画「物置のピアノ」特別試写会
3月	旧伊達郡役所保存修理工事完了
5月	安倍総理大臣が町内仮置き場を視察
2015	
1月	町制施行60周年記念式典
5月	イコーゼオープン 災害公営住宅竣工式(第1期整備)
7月	天皇后両陛下下行幸啓(桃農家視察)
2016	
9月	桑折西山城整備事業着手
11月	第1回在京桑折会
2017	
3月	災害公営住宅竣工式(第2期整備)
4月	幼稚園統合・新生醸芳幼稚園誕生
6月	もんも館、すくすく開所
10月	ふれあい公園屋外ステージ完成
2018	
4月	レガールこおりオープン
7月	桑折町献上桃25周年記念式典
9月	桑折高架橋連結記念式
12月	献上桃の郷こおり創生プラン策定
2019	
4月	桑折町蚕糸記念公園竣工式
10月	令和元年東日本台風発生
2020	
7月	こおり健康楽会設立
8月	相馬福島道路(伊達桑折IC~桑折)CT)開通
9月	全国山城サミット桑折大会プレ大会
2021	
1月	役場新庁舎開庁



1_原型をとどめないほどの家屋被害 2_日の丸の小旗を振って両陛下を歓迎 3_仮設住宅300戸を建設 4_桃の木を丁寧に洗浄 5_イコーゼのプールでのびのびと泳ぐ 6_平成6年から連続して献上桃に指定 7_映画「物置のピアノ」の上映会で感動に包まれる出演者と町民の皆さん 8_待望の災害公営住宅が完成 9_復興のシンボル「相馬福島道路」の本町区間が開通

Special Feature 東日本大震災からの軌跡

あれから10年—— ともに未来へ

10年前の3月11日、大好きなわが家、思い出の場所が失われました。立ち止まり、時に振り返り、そして、前へ進んできた10年。この節目に、東日本大震災からの軌跡をたどり、ともに未来を考えていきましょう。

平成25年、27年には、桃農家激励のため、天皇后両陛下が二度にわたりご来町。多くの町民にとっても、復興への大きな励みとなりました。また、被災した桑折町を舞台にした映画「物置のピアノ」では、希望をもって元気に過ごす町民の姿が映し出されました。平成27年には、新たな町のシンボルとして、イコーゼと災害公営住宅が完成。令和元年には、復興道路「相馬福島道路」の本町区間が開通するなど、一歩一歩着実に復興への歩みを進めてきました。

2011年3月11日に発生した、福島県沖を震源とするマグニチュード9.0の東日本大震災。宮城県栗原市で最大震度7を、震源地から約200km離れた桑折町では6弱を観測。町民のほとんどが経験したことのない激震。町内各所で道路が崩落し、家屋被害は3,324棟にまで及びました。さらに追い打ちをかけるかのように、東京電力(株)福島第一原子力発電所で放射能漏れ事故が発生しました。町は、「町土の除染なくして復興なし」「町民の健康なくして復興なし」「町民の安心なくして復興なし」を3大スローガンに掲げ、確かな復興を実現してきました。震災から4日後の3月15日には、県内トップを切って仮設住宅を建設。町内で住居を失った人や原発事故で避難してきた浪江町民を受け入れました。また、放射能の影響で汚染された町土や出荷制限の対象となった果樹を一早く除染。この甲斐あって、町特産の桃は、事故後途切れることなく、献上桃の指定を受け続けています。